

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方

表示内容や使い方については各機能の項目をご覧ください。
ストップウォッチ、タイマー、アラームの各モードを使用後、**(C)**ボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード

時刻・カレンダーモード

グラフ表示 月 曜日 日

時刻 6:30

10:58:50

午前マーク (午後は"P")

時刻・カレンダーモード

時刻 8:43

0:4 132

潜水時間 潜水開始時間

ログデータ表示 (曜日の見方)

インターバルタイム

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

★グラフ表示…時刻に連動して1秒ごとに点灯/不点灯し、5分ごとに点灯します。
★ライト点灯…**(L)**ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。(発光しているときにもう一度**(L)**ボタンを押すとその時点から引き続き約2秒間発光します。)
＜ご注意＞直射日光下では、発光が見えにくくなります。また、発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。
★ログデータ表示…**(A)**ボタンを押している間ログデータ表示となります。
★ログデータ消去…**(A)**・**(B)**ボタンを同時に押しとログデータが消去されます。

ダイビング(潜水時間計測)モード

潜水時間は、1秒ごと24時間まで計測できます

計測前(リセット時) 計測中

現在時刻 10:58

0:00:00

現在時刻 10:58

8:43

0:4 132

潜水時間

潜水開始時刻

計測スタート

計測ストップ

★グラフ表示…潜水時間に連動して1秒ごとに点灯/不点灯し、5分ごとに点灯します。
★ライト点灯…**(L)**ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。(発光しているときにもう一度**(L)**ボタンを押すとその時点から引き続き約2秒間発光します。)

ストップウォッチモード

1/100秒単位で24時間まで計測できます

現在時刻 10:58

00

0:00:00

時 分 秒 1/100秒

スプリット リセット

スタート ストップ

タイマーモード

1秒単位で24時間までセットでき、1/10秒単位で減算計測できます。

現在時刻 10:58

0

0:00:00

時 分 秒 1/10秒

リセット

スタート ストップ

アラームモード

3本のアラーム、時報がセットできます

現在時刻 10:58

6:30

12:00-1

アラーム時刻

アラーム番号

ON/OFF切替

アラームセット月日

アラーム番号切替

時刻・カレンダーの合わせ方

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正
月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、**(B)**ボタンを押します

セット状態となり、「秒」が点滅します。

秒

(2) 時報に合わせて、**(A)**ボタンを押します

「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3) 秒合わせが終わりましたら、**(B)**ボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。

(2) **(C)**ボタンを押します

セット状態のとき、**(C)**ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。点滅箇所がセット可能ですので、**(C)**ボタンでセットしたい箇所を選びます。

秒 → 時 → 分 → 12/24H切替 → 年 → 月 → 日

※12/24時間制表示切り替え
12/24時間制表示切り替えのときに**(A)**ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

※年は西暦で1995年~2039年までセットできます。
※曜日は年・月・日を含めると自動的にセットされます。

(3) 点滅箇所が**(A)**ボタンを押すごとに1つずつ進みます。
※押し続けると早送りができます。

(C)ボタンでセットしたい箇所を選び、**(A)**ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
※「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。

(4) セットが終わりましたら、**(B)**ボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。

■時刻・カレンダーの合わせ方
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、**(B)**ボタンを押します

セット状態となり、「秒」が点滅します。

月 年 日

1995

6:30

10:59:05

午前マーク 時 分 秒

(4) セットが終わりましたら、**(B)**ボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。

- セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
- カレンダーはうるう年および月の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

タイマーの使い方・操作のしくみにしたがってCボタンを押し、タイマーモードにします

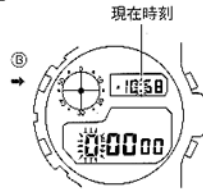
タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間の電子音で知らせてくれます。また、止めるまでセット時間をくりかえし計測するオートリピートタイマーとして使うこともできます。

■タイマー時間のセットのしかた

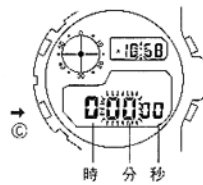
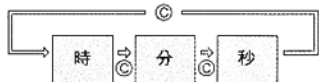
(1) タイマーモードのとき、

C ボタンを押します

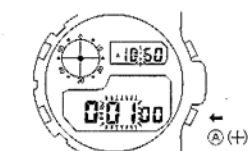
セット状態となり、タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) このとき、**C** ボタンを押すごとに以下のように点滅箇所が移動します。点滅箇所がセット可能となりますので、**C** ボタンでセットしたい箇所を選びます。



(3) 点滅箇所の表示数字が**A** ボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りします。
※24時間をセットする場合は、「00:00」に合わせます。



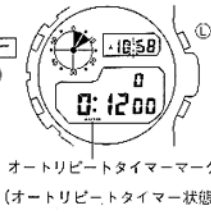
(4) セットが終わりましたら、**B** ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。
※セット時間は5分単位でグラフ表示されます。(5分未満は切り捨て)

●タイマー時間セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

■タイマーの方法を選ぶ

タイマー時間のセット状態(時、分、秒いずれかが点滅)のとき、**C** ボタンを押すごとにタイマーの方法が以下のように切り替わります。

リピートタイマー ↔ オートリピートタイマー
(不点灯) **C** ("AUTO"点灯)



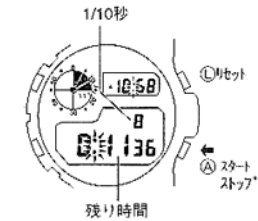
オートリピートタイマーマーク
(オートリピートタイマー状態)

●リピート(繰り返し)計測
タイムアップ後(残り時間0)電子音が鳴り終わると、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピート機能(自動繰り返し計測)
オートリピート計測は、タイムアップ後(残り時間0)も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。

■タイマー計測のしかた

A ボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。計測中**B** ボタンはスタート/ストップボタンとなりますので、ロスタイムがあるときは、**A** ボタンを押して計測を停止します。



※計測の途中で最初からやり直すときは、**A** ボタンを押して計測ストップ後、**C** ボタンを押します。

※タイマー減算計測中のグラフ表示
タイマー減算計測を始めると、5分未満の切り捨てられた部分から点滅し、以後、5分単位で消灯します。

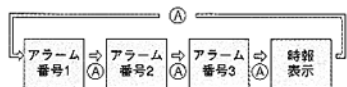
●鳴っている電子音を止めるには
鳴っている電子音を止めるには、**C** **A** **B** **C** ボタンのいずれかを押します。

アラームの使い方・操作のしくみにしたがってCボタンを押し、アラームモードにします

本機には月・日・時・分がセットできるアラームが3つあり、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。月・日を指定するとその月の日時のセット時刻に、月・日を指定しないときは毎日セット時刻に鳴ります。なお、3つのアラームはいずれも同じ使い方ができ、同時に3つの時刻をセットすることができます。また、毎正時(00分のみ)を「ビープ」と電子音で知らせる時報もセットすることができます。

■アラームのセットのしかた

(1) アラーム番号を選ぶ
アラームモードのとき、**A** ボタンを押すごとに以下の順に表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



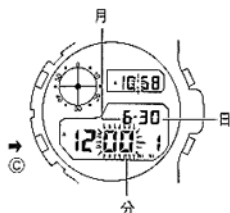
(2) アラーム番号を選びましたら、

C ボタンを押します

セット状態となり、アラーム時刻の「時」が点滅します。
※アラームONマーク(III)が点灯します。

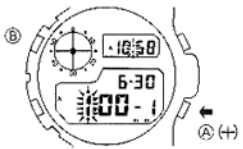


(3) このとき、**C** ボタンを押すごとに以下のように点滅箇所が移動します。点滅箇所がセット可能となりますので、**C** ボタンでセットしたい箇所を選びます。



(4) 点滅箇所の表示数字が**A** ボタンを押すごとに1つずつ進みますので、時・分・月・日をセットします。

※**C** ボタンは、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。



(5) セットが終わりましたら、**B** ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。
※アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

●月日のセット
月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日が変わります。
月・日・時・分セット → 指定月日の指定時刻に鳴る。
月・時・分のみセット → 指定月の1ヵ月間、毎日指定時刻に鳴る。
日・時・分のみセット → 月1回、指定日の指定時刻に鳴る。
時・分のみセット → 毎日指定時刻に鳴る。
※月日をセットしないときは、「----」と表示させます。

●アラーム・時報を鳴らすには
各アラーム表示(1~3)または時報表示のときに、**C** ボタンを押すごとにアラームONマーク(III)、時報ONマーク(II)が点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときにONで、アラーム・時報が鳴ります。



※アラームおよび時報を鳴らさないときは、**C** ボタンを押して「III」または「II」が点灯していない状態にします。

●鳴っている電子音を止めるには
鳴っている電子音を止めるには、**C** **A** **B** **C** ボタンのいずれかのボタンを押します。

●デモアラーム
アラームモードで**A** ボタンを1~2秒以上押し続けると、押し続けている間電子音が鳴ります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

ダイビング (潜水時間計測) 機能の使い方

■ダイビング機能 (潜水時間計測) について

本機は、ボタン1つで潜水時間の計測を行なうことができます。また、潜水時間の計測を終了させると、インターバルタイム (水面休息時間) の計測を自動的に行ないます。また、計測された潜水時間は、計測を開始した時間とともにメモリーすることができ、簡単に呼び出すことができます。

計測範囲および表示単位

- 潜水時間…計測範囲=23時間59分59秒 (24時間) 表示単位=1秒
※計測範囲を越えると0に戻り、くりかえし計測を行ないます。
- インターバルタイム…計測範囲=23時間59分 (59秒) (24時間) 表示単位=1分
※インターバルタイムは、時刻・カレンダーモードで(A)ボタンを押している間表示 (分単位で表示) され、計測範囲を越えると、“-:--”表示となります。

■潜水時間の計測のしかた

- (1) ダイビングモードに切り替える

(C) ボタンを約1秒間押します

※どのモードのときでも切り替わります。



- (2) 潜水時間の計測を始める

(A) ボタンを押します

このときの時間を「潜水開始時刻」としてメモリーします。



- (3) 潜水時間の計測を終了する

(A) ボタンを約1秒間押します

潜水時間の計測終了と同時に、インターバルタイムの計測を開始します。ただし、インターバルタイムはダイビングモードで見ることができません。(「計測したデータを見る」参照)

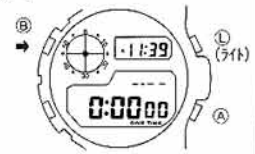


★ライト点灯

(L) ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。(発光しているときにもう一度(L) ボタンを押すとその時点から引き続き約2秒間発光します。)

★計測値をリセット/メモリー

(A) ボタンでストップ後、(B) ボタンを押すと計測値がリセット (0:0000) されます。
※このときに計測された潜水時間と潜水開始時刻がメモリーされます。
※計測ストップ後、リセットせずに(C) ボタンでモードを切り替えても、計測値はリセット/メモリーされます。



- (4) 時刻・カレンダーモードに戻す

(C) ボタンを約1秒間押します

＜ご注意＞

潜水時間計測中に(C) ボタンを約1秒間押すと、時刻・カレンダーモードに戻りますが、計測は続けられたままとなり、このときのログデータはメモリーされませんのでご注意ください。

■計測したデータを見る

時刻・カレンダーモードのときに(A) ボタンを押し続ける間、最新のログデータ (潜水開始時刻、潜水時間) およびインターバルタイムを表示します。

＜時刻・カレンダーモード＞

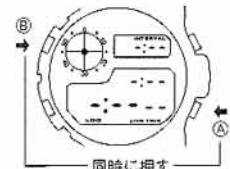
インターバルタイム



メモリー本数は1本のため、新しい計測 (潜水) を行なうと、自動的に古いデータが消え、新しいデータがメモリーされます。
※ただし、計測をストップさせずに時刻・カレンダーモードに切り替えた場合のログデータは、前回のものとなり、インターバルタイムは“-:--”となります。

●ログデータの消去

時刻・カレンダーモードのとき、(A)・(B) ボタンを同時に押すと、メモリーされたログデータが消去されます。
※(A) ボタンを押しながら、(B) ボタンを押すと簡単に消去できます。



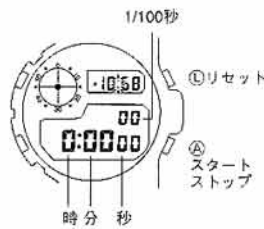
ストップウォッチの使い方…操作のしくみにしたがって(C) ボタンを押し、ストップウォッチモードにします

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99 (24時間計) まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

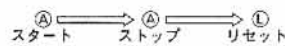
■計測のしかた

(A) ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測中(C) ボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。

(A)・(L) ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



●通常の計測



※寝る計算…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート (A) ボタンを押す) すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



●1着・2着のタイム同時計測

